

9 申告書の記入例

ア) 償却資産申告書（償却資産課税台帳）第26号様式

受付印		令和 8 年度															
償却資産申告書(償却資産課税台帳)																	
所 有 者	1 住 所 〔又は納税通知書送達先〕		旭川市東光○条□丁目○番△号										資産所有者の住所(又は納税通知書送達先)を記載してください。				
	(フリガナ) 2 氏 名 〔法人にあってはその名称及び代表者の氏名を必ず記入してください。〕		アサヒカワ カンタロウ 旭川 寛太郎										電話(0166)〇〇-△△△△				
(屋号 お食事の店 あさっぴー)													資産所有者の氏名(法人にあっては法人名及び代表者の氏名)を記載してください。 (注:フリガナが印字されていますが、必ず氏名を記載してください。)				
資産の種類	取 得 価 額												計((イ)-(ロ)+(ハ)) (二)				
	前年前に取得したもの (イ)			前年中に減少したもの (ロ)			前年中に取得したもの (ハ)										
1 構築物	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	
2 機械及び装置			3 0 0 0 0 0 0						2 5 0 0 0 0 0				1 1 0 0 0 0 0				1 6 0 0 0 0 0
3 船舶																	
4 航空機																	
5 車両及び運搬器具																	
6 工具、器具及び備品			2 9 0 0 0 0 0						1 6 0 0 0 0 0				1 6 2 0 0 0 0				2 9 2 0 0 0 0
7 合計			7 2 0 0 0 0 0						4 1 0 0 0 0 0				9 7 6 0 0 0 0				1 2 8 6 0 0 0 0
		資産の種類		評 価 額 (ホ)			※ 決 定 価 格 (ヘ)			※ 課 税 標 準 額 (ト)							
		1 構築物	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円			
		2 機械及び装置															
		3 船舶															
		4 航空機															
		5 車両及び運搬器具															
		6 工具、器具及び備品															
		7 合計															

申告用紙は複写になっていて、一枚目は提出用、二枚目は控え用です。
郵送による提出で控え用に受付印が必要な場合は、必ず返信用封筒(郵便切手を貼付したもの)を同封してください。

95 - 12345

所有者コード	123456789	00
--------	-----------	----

第二十六号様式
（提出用）

3 個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	8 短縮耐用年数の承認 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
4 事業種目 (資本金等の額)	飲食店 (10 百万円)	9 増加償却の届出 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
5 事業開始年月	平成10年3月	10 非課税該当資産 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
6 この申告に応答される者の係及び氏名 電話(0166)○○-△△△△	旭川 一太郎	11 課税標準の特例 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
7 税理士等の氏名 電話(0166)XX-XXXX	税理士 東光 次郎	12 特別償却又は圧縮記帳 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
15 旭川市内における事業所等資産の所在地	17 事業所用家屋の所有区分	13 税務会計上の償却方法 定率法 <input checked="" type="radio"/> 定額法 <input type="radio"/>
①旭川市 東光○条□丁目○番△号	自己所有 <input checked="" type="radio"/> 借家 <input type="radio"/>	14 青色申告 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
②旭川市 ○条通□丁目右△号	自己所有 <input checked="" type="radio"/> 借家 <input type="radio"/>	
③旭川市	自己所有 <input checked="" type="radio"/> 借家 <input type="radio"/>	
④旭川市	自己所有 <input checked="" type="radio"/> 借家 <input type="radio"/>	
16 借用資産(有 <input checked="" type="radio"/> 無) 貸主の名称等	☆※リース 株式会社	
18 備考(添付書類等)	令和7年○月△日 事業主 旭川 寛一の死亡により事業承継 (事業承継人) 旭川 寛太郎	
<p>該当する番号いずれかを○で囲んでください。</p> <p>1. 昨年中の資産の増加、減少なし 2. 昨年中の資産の増加、減少あり 3. 営業しているが、該当資産なし 4. 廃業・解散・転出等(年)</p>		

【所有者コード】

自社電算申告により申告される方は、この所有者コードを記載してください。

【3 個人番号又は法人番号】

資産所有者の個人番号(マイナンバー、法人にあっては法人番号)を記載してください。
(注:個人番号は左側を1文字空けて記載してください。)

【18 備考】

この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考になるべき事項を記載してください。

※合併、相続等により所有者の住所・氏名に異動があった場合。

(記載例1)

令和7年○月×日 商号変更

(旧) 株旭川○○組

(新) 株旭川○○建設

(記載例2)

令和7年△月□日 事業主の死亡により長男が事業承継。

(事業承継人) ○川 ○太郎

旭川市

イ) 種類別明細書(増加資産・全資産用) 第26号様式 別表第1

令和 8 年度

種類別明細書(増加資産・

申告	所有者コード		枝番	資産の種類	1構築物	2装機械及び船置び	3船	4航空機	5搬車両及び運び	6及工具、備品具	年号					
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	00	3昭和					
											4平成					
											5令和					
【資産の種類】																
1 構築物	2 機械及び装置	3 船舶	4 航空機	5 車両及び運搬具	6 工具、器具及び備品											
↓																
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等						数量	取得年月			(イ) 取得価額			
			年号	年	月	十億	百万	千		円						
01	1	内部造作 備店舗)						1	5	7	2	6	8	4	0	000
02	1	物置 ○○社製 1.5坪)						1	5	7	2	2	0	0	000	
03																
04	2	挽肉機						1	4	19	10	5	0	0	000	
05	2	製麺機						1	4	19	10	6	0	0	000	
06																
07	6	冷凍冷蔵庫 中古)						1	5	7	6	7	0	0	000	
08	6	ネタケース						1	5	7	6	2	0	5	000	
09	6	コールドテーブル						1	5	7	6	4	1	5	000	
10	6	テーブル・椅子						1	5	7	6	3	0	0	000	
19																
20																
小計												9	7	6	000	

注意「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他

【取得年月】

資産を実際に取得した年月を記載してください。
年号欄には「3 昭和」「4 平成」「5 令和」の数字を使用してください。

【取得価額】

資産を取得するために直接支出した金額のほか、当該資産を事業の用に供するために要した費用(手数料、関税、据付手数料等)も含まれます。

消費税の扱いは、所得税・法人税に準じます。

[注1] 前年度(令和7年度)以前に申告済みの方で、増加した資産がある場合はその増加資産について記載してください。

また、本年度(令和8年度)初めて申告される方は、令和8年1月1日現在所有する全ての資産について記載してください。

[注2] 省令改正により耐用年数を変更した資産を所有している場合で、申告もれ又は市外からの移動があったときは、本ページを参照して記載してください。

全資産用)

95 — 12345

所 者 名										枚のうち				
旭川 寛太郎														
耐用年数	(口) 減価残存率	(八) 價額				※課税標準額の特例及び非課税				※課 税 標 準 額			増加事由	摘要
		十億	百万	千	円	特例	非課税	十億	百万	千	円	特例		
20.0.												1・2 3・4		
10.0.												1・2 3・4		
8.0.												1・2 3・4	申告もれ分 改正前9年	
8.0.												1・2 3・4	R7年4月○○市より 移動。改正前9年	
0.0.												1・2 3・4		
2.0.												1・2 3・4	4年間使用	
6.0.												1・2 3・4		
6.0.												1・2 3・4		
6.0.												1・2 3・4		
	0.0.											1・2 3・4		
	0.0.											1・2 3・4		

のいずれかに○印をつけてください。

旭川市

【耐用年数】

減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1から別表第6まで(別表第3及び第4を除く。)に掲げる耐用年数を記載してください。

なお、中古資産について見積耐用年数によっている場合は、その耐用年数を、国税局長の承認を得て短縮耐用年数によっている場合はその耐用年数を記載してください。

【增加事由】

【書類用紙】
増加事由欄の該当する数字に
○を付けてください。

- 「1」新品取得
 - 「2」中古品取得
 - 「3」移動による受け入れ
 - 「4」その他

【申告もれの資産があった場合】 (行番号04)

(例) 挽肉機

- ・平成19年10月取得
 - ・取得価額 500,000円
 - ・耐用年数 省令改正前 9年
改正後 8年

・『耐用年数』欄には省令改正後の耐用年数「8年」を記載する。

- ・『摘要』欄には、「申告もれ」であること、(省令)改正前の耐用年数「前9年」を記載する。

【市外からの移動の場合】 (行番)

(例) 製麵機

- ・平成19年10月取得
 - ・取得価額 600,000円
 - ・耐用年数 省令改正前 9年
改正後 8年

- ・『耐用年数』欄には省令改正後の耐用年数「8年」を記載する。

- ・『摘要』欄には、「市外からの移動」であること、(省令)改正前の耐用年数「前9年」を記載する。

【耐用年数の改正で耐用年数を変更する場合】

(行番号07)

省令改正において耐用年数の変更があった資産を所有している場合で、令和7年度以前の償却資産申告において未だ耐用年数を修正していないときは、変更後の耐用年数に修正してください。

(例) 製麺機

耐用年数 省令改正前：9年、省令改正後：8年

↓

- ・該当する耐用年数を二重線で抹消し、改正後の耐用年数を記載する。
- ・摘要欄に「(省令)改正による」のように記載する。

申告	所有者コード	枝番
0・4	123456789	00

□ 減少した資産の行番号を

行番号	資産の種類	資産コード	資産等の
01	1	00001	看板
02	1	00002	駐車場舗装
03			* * 資産の種類 1
04			
05	2	00001	プレハブ冷蔵庫
06	2	00002	挽肉機
07	2	00003	製麺機
08			* * 資産の種類 2
09			
10	6	00001	応接セット
11	6	00002	エアコン
12	6	00003	複写機
13	6	00004	パソコン
14			* * 資産の種類 6
15			
16			
17			
18			
19			* * 債却資産

↑ 1. 構築物 2. 機械及び装置 3. 船舶

【① 資産の全部が減少した場合】

(行番号 05, 06, 10, 12)

(例) 応接セット一式(取得価額 500,000円)を株式会社〇〇に売却した。

↓

- ・該当する「行番号」を○で囲む。
- ・「減少の事由」は「1 売却」、「減少区分」は「1 全部」を○で囲む。
- ・摘要欄に「(株)〇〇に売却済」のように記載する。

【② 資産の一部のみが減少した場合】

(行番号13)

(例) パソコン5台(一台あたりの取得価額300,000円)のうち2台を廃棄した。

↓

- ・該当する資産の「数量」、「取得価額」を二重線で抹消する。

・それぞれの上部に、減少した数量および価額を記載してください。(要注意)

・取得価額の残額を「一部減のときの残額」欄に記載してください。

・「減少の事由」は「2 減失」、「減少区分」は「2 一部」を○で囲む。

・摘要欄には「5台のうち2台廃棄」のように具体的に記載する。

[注] 省令改正により耐用年数を変更した資産を所有している場合で、令和7年度以前の申告において耐用年数を修正されていないときは、本ページの記載例を参照して修正してください。

令和 8 年度

提出用

種類別明細書（減少資産用）

○で囲んでください。

所　有　者　名		95 — 12345
旭川 寛太郎	1 枚のうち 1 枚 目	

名　称　等	数　量	取得年月			取　得　価　額				耐用年数	減少の事由及び区分		一　部　減　の　と　き　の　残　額				摘要要
		年号	年	月	十億	百万	千	円		1壳却 2滅失 3移動 4その他	1全部 2一部	十億	百万	千	円	
	1	H	10	3		3 0 0	0	0 0	10	1・2・3・4	1・2					
	1	H	10	3		1 0 0	0	0 0	10	1・2・3・4	1・2					
合計 **	*					1 3 0	0	0 0	*	1・2・3・4	1・2					
										1・2・3・4	1・2					
	1	H	19	4		2 0 0	0	0 0	8	1・2・3・4	1・2					○○市に移動
	1	H	19	5		5 0 0	0	0 0	8	1・2・3・4	1・2					△△(株)に売却済
	1	H	19	5		5 0 0	0	0 0	8	1・2・3・4	1・2					省令改正による
合計 **	*					3 0 0	0	0 0		1・2・3・4	1・2					
										1・2・3・4	1・2					
	1	H	27	10		5 0 0	0	0 0	8	1・2・3・4	1・2					(株)○○に売却済
	1	H	30	6		4 0 0	0	0 0	6	1・2・3・4	1・2					
	1	H	31	4		5 0 0	0	0 0	5	1・2・3・4	1・2					
	2 5	R	1	9		6 0 0	0	0 0	4	1・2・3・4	1・2		9 0 0	0	0 0	5台のうち 2台廃棄
合計 **	*					2 9 0	0	0 0		1・2・3・4	1・2					
										1・2・3・4	1・2					
										1・2・3・4	1・2					
										1・2・3・4	1・2					
										1・2・3・4	1・2					
										1・2・3・4	1・2					
合計 **	*					7 2 0	0	0 0		1・2・3・4	1・2					

4. 航空機 5. 車両及び運搬具 6. 工具、器具及び備品

【摘要欄】
資産の移動先の市町村名、売却先等を記載してください。

【一部減少した分の価額】
減少した分の価額を記載してください。
(この場合は減った2台分の価額)

【一部減少のときの残額】
減少後の残額を記載してください。
(この場合は残った3台分の価額)